

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2025年12月21日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



醍醐コミバス 日祝日の運行復活を！

小栗栖自治会が1000筆を超える署名

「署名が 1000 筆を超えたので取りに来てほしい」と小栗栖自治会の役員さんから連絡があり、早速伺いました。自治会の役員さんたちは「1 回は回覧で回したけど、430 筆しか集まらなかった。1 軒に 1 人しか書いていないところや、自治会員以外も回る必要があると考え、2 回目はすべての家を回った」「常にカバンに署名用紙を入れていた」などと話されました。そして「自治会員さんからコミバスが不便になって困っている。何とかしてほしい」と声が寄せられていたことや、そこに署名を集めたいと声がかかり、直ぐに独自の署名を作って回覧したことなどの経過が話されました。努力の結果、1 か月足らずの間に小栗栖自治会だけで 1000 筆を超える署名が集まりました。「醍醐コミバスをもとに戻すことを求める有志」の署名を合わせると、3000 筆を超える勢いです。地域のお店や医療機関や高齢者施設などにも署名が置かれ、協力施設も広がっていま



す。暮らしの足として根付いているコミバスですから、日曜祝日の運休回復は切実な要求です。運転手不足を解決するためにも京都市の支援が必要です。声を上げていきましょう！「市民の会」では運転手の募集をされています。ぜひ応募を！

議員日誌

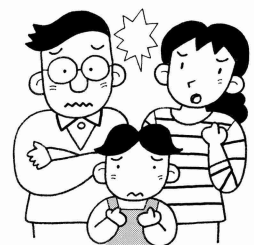
暮らし支える緊急対策を求める申し入れ 共産党市議団

12月9日、日本共産党市会議員団は、政府の物価高騰支援としての補正予算が閣議決定されたことを受けて、「暮らし支える緊急対策を求める申し入れ」を行いました。地方6団体から要望のあった重点支援地方交付金の拡充として2兆円が盛り込まれ、前年の3.3倍の予算規模とされ、本市においては20億円程度が想定されます。内閣府の自治体向け事務連絡では「可能な限り年内での予算化に向けた検討を前広に」と強調しています。長引く物価高騰により、市民生活の実情は一刻の猶予もありません。次の5項目での早急に実施を求める申し入れをし



ました。①2026年から小学校給食費の無償化を国が実施予定ですが、国待ちではなく、年度内実施をすること②新たなコスト増や複雑なシステム構築を避け迅速に対応できる水道料金の減額や免除をおこなうこと③中小企業・小規模事業者の賃上げに対する直接支援を実施すること④医療・介護・保育・障害福祉施設等への物価高騰対策支援をおこなうこと⑤市立病院の自治体病院機能を堅持充実させる人員体制の強化のため、本市職員に準じた給与水準の引き上げを行うこと。

ました。否決されてしまいました。結果、一人の差で疑問を感じます。持った判断能力に??が通るとは、議員としての責任を



十一月市会の最終盤に日本共産党から提案した「人種差別に反対する声明を発出することを求める決議」について、閉会前日の議会運営委員会では、自民公明と無所属の三人が反対し、共産、維新、改新と無所属の三人が賛成で可決することが確認されていました。ところが真夜中になって、立憲の平田議員から「反対することにした。態度を翻す判断をした」と市会事務局に連絡が入りました。通常は議会運営委員会での確認が本会議での確認になりますので、異例中の異例です。理由はどこからの圧力??共産党の提案を可決するわけにはいかない人からの圧力??が通るとは、議員としての責任を

十一月市会の最終日に
真夜中の混乱

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ

毎週水曜日

午前10時から午後5時

まずはお電話ください!!

☎621-6717